



## モンシロチョウは、なぜ日本全国にほんぜんこくにいるの

### モンシロチョウは、日本の気候きこうでくらしていける

モンシロチョウが日本全国にほんぜんこくで見られるのは、モンシロチョウが、とくに寒ささむに弱いとか、特別な環境とくべつ かんきようでないと、生きていけないようなチョウではないからです。また、モンシロチョウが育つのに必要な食べ物そだ ひつよう た ものが、日本全国にほんぜんこく、どこにでもあるものだからといえます。

チョウは、いろいろな花はなのみつを吸うので、花さえあればだいじょうぶといえます。やっぱりなのは、チョウの幼虫時代ようちゅうじだいです。

### チョウの幼虫ようちゅうは、決まったえさしか食べない

チョウの幼虫ようちゅうが食べる植物た しょくぶつの種類しゅるいは、チョウの種類しゅるいによって決まっています。それを食草しょくそうといえます。モンシロチョウの幼虫ようちゅうである青虫あおむしが大好きな食草しょくそうは、キャベツです。でも、キャベツおな なかまと同じ仲間のアブラナ科あの植物しょくぶつなら、たいてい食べます。ですから、コマツナ、アブラナ、カブ、ハクサイ、ダイコンの葉はなども、あたえてみると食べます。

### モンシロチョウの食草しょくそうは、全国どこにでもある

これらの野菜やさいは、どれかが日本全国にほんぜんこく、どこにでもたいてい植うえられています。だから、モンシロチョウは、食草しょくそうがなくてこまるということはなく、日本中にほんじゅうで見られるといえます。

モンシロチョウに近い仲間のスジグロシロチョウは、イヌガラシなどの野生やせいのアブラナ科あの植物しょくぶつを食草しょくそうにしています。

チョウは、植物しょくぶつにおいて食草しょくそうを見分けているようです。チョウの種類しゅるいによって、それぞれが食草しょくそうを選ぶことで、同じ食べ物おな た ものをとりあうことがなくなり、どの種類しゅるいのチョウも生きのびていけるのです。（監修・中山 周平）

